

令和4年度

# 第60回 越馬徳治科学賞 表彰状授与及び助成金交付式

日時 令和5年2月17日(金)

16:30～17:15

式場 ホテル日航金沢 4階 鶴の間

## 式次第

- 1 開式のことば
- 2 表彰状及び記念品等授与  
個人表彰  
功労者表彰  
学校表彰
- 3 助成金交付  
学校助成  
研究機関助成  
研究奨励
- 4 あいさつ  
石川県科学教育振興会会長 高納伸宏
- 5 来賓祝辞  
石川県教育委員会教育長 北野喜樹
- 6 受賞者代表謝辞
- 7 閉式のことば

主催 石川県科学教育振興会

共催 石川県教育委員会

# 受賞者等の紹介

## 1 個人表彰

金沢市立森本小学校 主幹教諭 **常光 史明**

内灘町立清湖小学校を初任に、金沢市立中央小学校、同木曳野小学校教諭を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励への応募や石川県理科教育研究大会での発表の実績がある。指導面では、金沢子ども科学財団児童科学教室指導員として児童の指導にあたりるとともに、金沢市初任者研修教科演習の講師を務めた。また、「理科の学習」編集委員、石川県理科教育研究協議会幹事、金沢市小学校教育研究会理科部会代表運営委員を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

石川県立金沢錦丘中学校 教諭 **上野 百世**

津幡町立津幡中学校を初任に、金沢市立長田中学校、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校、津幡町立津幡南中学校を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励への応募や「『深い学び』実践の手引き」（教育開発研究所）等の実践事例提供の実績がある。指導面では、理科担当教員として、高峰賞応募生徒やサイエンスチャレンジ等の参加生徒の指導にあたりるとともに、科学の祭典における科学ショーの講師として児童生徒の指導にあたった。さらに、金沢大学人間社会学域学校教育学類附属中学校理科部会の部会長や、石川県立金沢錦丘中学校理科部会の部長を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

石川県立飯田高等学校 教諭 **木浦 智**

穴水町立向洋中学校を初任に、石川県立水産高等学校小木分校、同能都北辰高等学校小木分校、同門前高等学校を経て現在に至る。研究面では、「レポート指導について」や「コンピュータグラフィックスを用いた物理現象の視覚化について」をテーマに石川県高等学校理化教育研究大会での発表の実績がある。また、物理実験研究部会の能登地区代表や、北信越理化学協会の北信越理事を務めるなど、理科教育の振興に貢献している。

## 2 功労者表彰

金沢市立犀川小学校 教頭 **业村 弘樹**

金沢市立伏見台小学校を初任に、同東浅川小学校、同菊川町小学校、同中央小学校、金沢市教育委員会事務局学校指導課指導主事、同係長を経て現在に至る。研究面では、越馬徳治科学教育研究奨励への応募がある。指導面では、金沢市少年少女発明クラブ副室長等として、児童への指導にあたった。また、金沢市小学校教育研究会理科部会の広報副委員長、広報委員長として「知の創造」編集作業に携わりるとともに、公益財団法人ソニー教育財団研究実践論文に代表執筆者として応募し、4年間奨励校として入選するなど、理科教育の推進に貢献している。

小松市立松陽中学校 校長 **荒木 達人**

寺井町立寺井中学校を初任に、根上町立根上中学校、辰口町立辰口中学校、能美市教育委員会事務局学校教育課課長補佐兼指導主事、小松教育事務所指導主事、加賀市立山代中学校教頭、能美市教育委員会事務局学校教育課長、小松教育事務所管理課長、小松市立安宅中学校校長を経て現在に至る。指導面では、理科担当教員として、サイエンスチャレンジの参加生徒の指導にあたった。また、能美市子供マイスター大会の企画運営を行い、科学作品展や科学教室を開催したり、小松市学校教育研究会理科部会副会長を務めたりするなど、理科教育の推進に貢献している。

石川県立志賀高等学校 校長 江上 雅宏

石川県立輪島高等学校を初任に、同羽松高等学校、同宝達高等学校、同羽咋高等学校、同金沢泉丘高等学校、同羽咋高等学校、同鹿西高等学校教頭、同羽咋高等学校教頭、同金沢桜丘高等学校副校長を経て現在に至る。研究面では、「水銀化合物と化学教材」をテーマに石川県高等学校理化教育研究大会での発表の実績がある。また、石川県高等学校教育研究会理化部会の化学実験書検討委員や特別委員会委員を務めるなど、理科教育の推進に貢献している。

### 3 学校表彰

#### 金沢市立田上小学校

(校長 押野 正憲)

当校は、科学に取り組む児童に対し、個別の相談や実験器具等の貸し出しを行うといったサポートをし、理科研究を奨励してきた。石川県児童・生徒科学作品コンクールでは多くの作品を出品し、優秀賞等、数多くの受賞者を輩出している。学校研究では『学び合い』の授業をめざして～『めざす授業』と『そのための行動』を子どもと共有し、浸透させることを通して～』として、「PF・VS」「問い返し」「ふり返り」の視点から協働的な学びの指導法の実践を図っている。さらに、児童が率先して実験していくことができるように、理科室にわかりやすく実験器具を配置したり、身近な科学についてポスターを掲示したりするなど、環境整備に取り組んでいる。全学級で問題解決学習の指導法が実施され、問題の発見、観察・実験の基本的な知識・技能、結果から考察における児童の思考力や表現力を高めている。

#### 中能登町立中能登中学校

(校長 水谷内 良郎)

当校は、豊かな自然の元、充実した施設・設備を備え、理科授業を中心に生徒の科学する心を育ててきた。夏季休業中の自由研究においては、事前指導や実験器具等の貸し出しを行う等のサポートを行っている。また、科学技術部は、毎年サイエンスチャレンジに積極的に参加している。

令和6年度には石川県理科教育研究大会の会場校になる予定であり、教員の指導力向上に努めている。校内の理科教員同士で相互に授業を参観しながら、それぞれの持ち味を出し合い、研鑽を積んでいることに加え、小学校の授業を参観し、よい授業実践を取り入れたりするなど、小中連携を意識した取組も行っている。

#### 石川県立小松明峰高等学校

(校長 桐生 裕三)

当校は、平成15年度より「アドバンストクラス」及び「レギュラークラス」を編成し、きめ細やかな指導を行っている。平成28年には、理系アドバンストクラスにおいて、最先端研究の一端に触れる目的として「サイエンスツアー」を実施した。

研究活動としては、科学同好会が「石川県中学・高校生徒物理研究発表会」において発表をしている。令和元年には物理研究発表会の結果をもとに、北信越地区高等学校自然科学部研究発表会の代表に選出されている。その他にも「高校生のための実験・実習セミナー」「いしかわ高校科学グランプリ」に参加するなど、科学研究活動に積極的に取り組んでいる。

### 4 学校助成

#### 加賀市立山代小学校

(校長 下野 哲夫)

#### 加賀市立山代中学校

(校長 新井 徹)

#### 石川県立大聖寺高等学校

(校長 米口 一彦)

令和5年度に加賀市で開催する、第60回石川県理科教育研究大会の公開授業担当校として、小・中・高等学校をつなぐ理科教育を積極的に推進している。

## 5 研究機関助成

### 石川県教員総合研修センター

(所長 杉 中 達 夫)

科学教育の充実に向け、科学教育担当教員の指導力・実験力向上のための研修を実施し、科学教育の振興・発展に努めている。

## 6 研究奨励 (※は研究代表者)

### 1人1台端末を活用した探究的な学びへの環境整備に関する研究 ～錦丘学びのアーカイブスの構築と活用～

石川県立金沢錦丘中学校	教諭	上野	百世*
石川県立金沢錦丘中学校	教諭	田中	祐介
石川県立金沢錦丘中学校	校長	嶋	耕二

### Scratchと1人1台端末を活用した効果的な理科の『学び合い』授業実践

白山市立笠間中学校 教諭 浅見 拓真

### 小・中学校理科の深い学びを実現する授業のあり方 ～ミライシードを軸とした理科の単元構成について

金沢市立額中学校 教諭 小松 武史

### 1人1台端末を用いた主体的・対話的で深い学びにつながる高校理科観察、実験

石川県立大聖寺高等学校 教諭 稲村 竜

### 高校物理における1人1台端末を用いた実験データの共有と統計処理

石川県立小松高等学校 教諭 盛田 義弥

## 越馬徳治科学賞について

### 1 趣旨

越馬徳治科学賞は、昭和38年、石川県科学教育振興会の発足と同時に、優れた理科教員を顕彰し、併せて本県科学教育の振興を期して、故越馬徳治会長の寄付を基金として設立された賞である。

発足当初、小・中・高等学校において指導実績に優れ、研究業績も顕著にして少壮有為な理科担当教員を対象として表彰していたが、昭和59年度より児童・生徒の科学活動に優れた成果をあげた学校の表彰並びに科学教育の振興を図り実践している学校・研究所等への助成金交付が加えられた。さらに、平成元年度より理科教育の推進に功労のあった教員の表彰が加えられ現在に至っている。

### 2 表彰・助成・奨励

- (1) 理科教育の振興に努力し、その進展に顕著な業績をあげた教員の表彰
- (2) 理科教育の推進に功績のあった教員の表彰
- (3) 児童・生徒の科学研究活動にすぐれた成果をあげた学校の表彰
- (4) 小・中・高をつなぐ理科教育を積極的に推進している学校への助成
- (5) 科学教育に関する研究所等への助成
- (6) 科学教育担当教員の研究並びに教育機関に属する個人及びグループの研究への奨励

### 3 過去の教員表彰者数

上記(1)・(2)について令和4年度を含めた総数は、436名に上る。

その内訳は、小学校173名、中学校137名、高等学校126名である。